

「グレイクリスマス」

感想文集

NPO法人 ふなばし演劇鑑賞会

戦後だけではないが、色んな立場で色んな人生があるのだと感じた。少なくとも戦前、戦後でなく現在に生まれて良かったと思った。

(きらきら星 古川信吾 50代)

戦時をたくましく生きてきた人々の物語は心に沁みました。憲法を読み返して、平和を感じたいと思います。

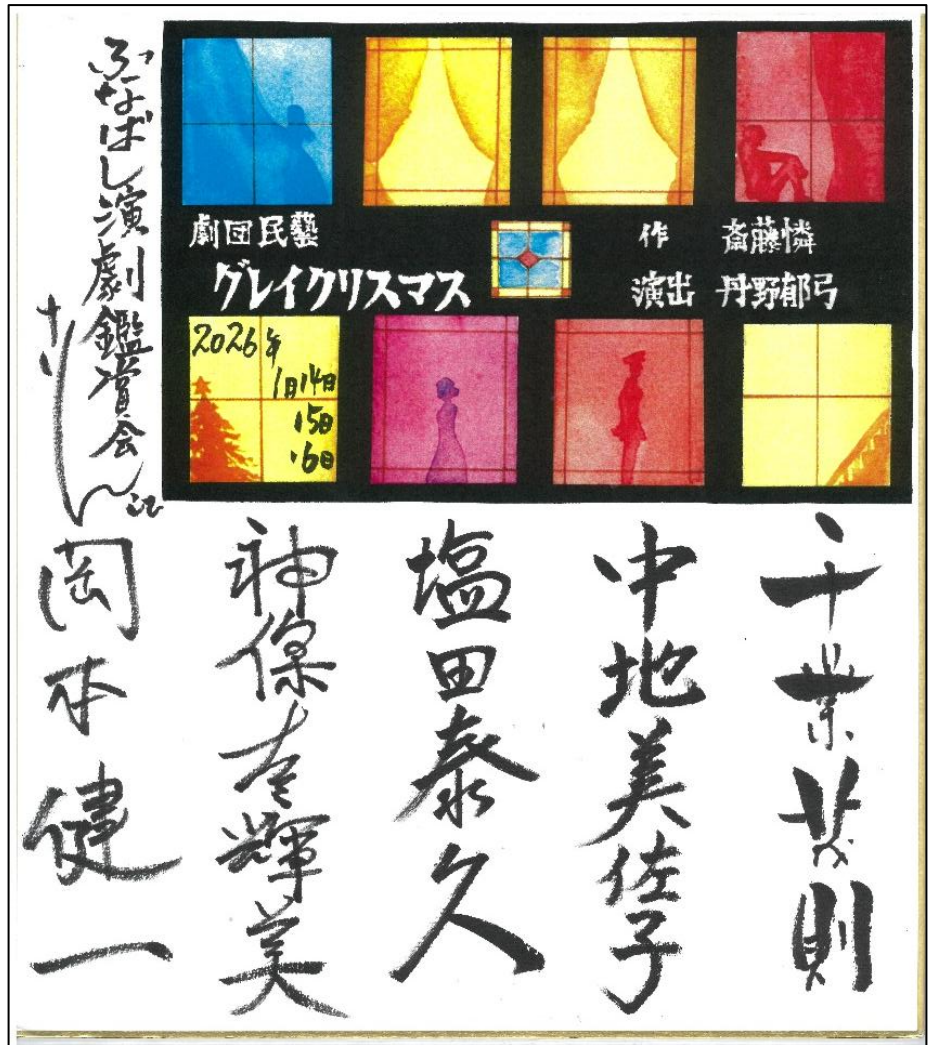
(亜童夢 長江広勝 50代)

すごい力を入れて頑張っている感じが(声・勢い)、あとで聞いてこれから74回演じるスタートだった、勿論内容もですが、ということでもストンと落ちた。華子さんの声が憲法を言うところ、ピタリでした。声と役、それぞれの人の演じ方がすばらしい。若い人たちの熱演にも好感をもちました。これから健康に気をつけ、頑張ってください。

(マジナ 馬場 70代 女)

本当に素晴らしいお芝居でした。時代に翻弄されながらも、力強く生きていく人間達の生き様に感動させられました。少しでもいい、夢がみたい、美しい夢を実現させるために頑張るであろう私達人間。しかし、泥まみれになりながらも生きていく。最後の彼女の言葉が一筋の希望になることを祈りながら、私達は生きていくべきですね。グレイクリスマスがホワイトクリスマスになりますように！

(パンパスグラス 遠藤竜子 60代)



どのキャラクターも個性的で良かったです。2時間30分足りない感じがしました。腰が限界だったけど…それぞれのストーリーもつと観たかった。

戦争で奪われる家族の絆や愛が切なかった。1945年から2026年経つ今も、人種差別や男女平等の問題は今も無くなってなくて絶望。セット、すてきなソファ！良かった。

(おひさま 後藤悦子 30代)

つい先日鑑賞会に入会。会員として初めての観劇です。18人も舞台に出ているなら、誰が誰だかわからなくならないか…の不安はなくなりました。すべての方が、一つの芝居をつくりあげていることに感動しました。ありがとうございます。(イヴ 本田満 60代)

役者の皆様の力強い演技に感動しました。

(9月の風 稲垣真代)

大好きな斎藤憐さんの作品、楽しみにしておりました。1945年〜1950年、敗戦からの5年間、私はまだこの世に生を受けていませんでした。

華族令廃止、そこから見えてくる元伯爵家の凋落、闇屋などという言葉は、私が幼い頃も残っていたと記憶しています。登場人物の描き方が素晴らしく、これぞヒューマンドラマだと思いました。ヒロポン中毒を題材にしたドラマや劇は観たことがあります。

戦後、自分たちが生きていく意味を見失った人々がかんがっていた事でしょう。日系二世の軍人の苦悩、在日の権藤の歌う韓国語の「蛍の光」。様々な問題を織物のように縦糸、横糸とうまく絡み合わせた人間模様。そして、最後に華子が謳うように「日本国憲法」の第三章を暗唱するシーンにはジーンときまりました。

わたしは趣味で英語と韓国語を学んでいるので、ハンゲルは胸に響きました。「日本国憲法」、帰宅してすぐに読み返しました。

いつも近くに置いてあるのに、真剣に読んだのは久しぶりです。今の世の中、本当に平等なんだろうか。国政は国民の方を向いているのだろうか…。そんなことを考えながら帰路につきました。

素敵なお芝居ありがとうございまして。最後に「男闘呼組」の岡本さんステキでした。

(ジャンプ 藤井雪枝 70代)

1945年のクリスマスから1950年のクリスマスまでの、知っているようで何も知らなかった5年間でした。

舞台は伯爵家という特別なだけに、ごく普通のピープルの5年間に様々な疑問を抱きました。敗戦からわずか4か月、アメリカの占領下のクリスマスはどこか明るく浮かれているようにも見えるように、日本人が過ごせるものなのか？家も家族も失ったピープルにクリスマスはあったのか？そもそもアメリカの占領とはどんなもので、ピープルにどんな影響があったのか？どれだけの建物や場所が接収され、その後どのようにして今に至っているのか？戦犯への連合国の審判をピープルはどう思い、日本としての追及や意見をなぜしなかったのか？日本国憲法、デモクラシーをピープルはどう考えたのか？1950年代後半に生まれた自分ですが、

戦後のグレイな名残りを見たり聞いたりの記憶はないに等しく、それらを覆った真っ白な雪の上ばかりを見て来たのだと思いました。アメリカの日系の人々、在日朝鮮の人々、女性の生き方、朝鮮戦争と日本の関係等々々々知っておくべきなのに、知らないこと知らされてなかったことがなんと多いことか。そんなことを考えさせられた芝居でした。(アマルフィ 木暮香苗 60代)

それぞれの国民で立場が異なる事が永遠の課題であると思う。

(スマイルハート 丹保克弘 60代)

正月なのに「クリスマス」なんて題の芝居を観るのは、なんかおかしくない？と思つてみていたが、話はそんな内容ではなかった。敗戦から80年がはや過ぎ、いまや繁栄している日本しか知らない者たちがほとんどになった。戦後の貧しい時代に、主人公・元華族の五條家の零落れた生活どころではなく、寒い時期にはセーター一枚で青っ涙をたらし、食うものは水団など不味い食べ物でどうにか育つた者としては、いまの若い世代には是非ともこの芝居をじっくりと見てほしいと思う。

敗戦直後のなりふり構わぬ人の生き様は凄まじいものであった。終幕近くで将校クラブのホステスに零落れた妻の五條華子が新憲法序文を所どころ朗読するが、そんな敗戦後のGHQ占領時に新憲法は制定されて、天皇制の大日本帝国憲法から180度変わり、絶対平和・戦力不保持・基本的人権不可侵・象徴天皇制など国の造りが国民主権のものになったのである。「クリスマスがどうしてグレイなの？ホワイ

トでなくて」そう思うけど、クリスマスなんて、祝わなかった、いや、なかったのだ。けれど、終幕の窓のむこうに映る舞い散る雪の景色は実に美しかった、まさにホワイトクリスマスだった。

ただ、この芝居のことから離れて現実に戻してみると、日本初の女性総理をいたたく現在の国政が、憲法を書換えて軍備をそなえ隣国と競りださな

うすら寒い気がしているのが小生だけなら幸いである。劇団民藝の皆さん、啓蒙的な興味深い芝居を楽しませてくれ感謝 感謝！です。(マゴメ ムラタ)

前の席で観させていただいたので、力があつて楽しかったです。(スマイルハート 千葉直哉 30代)

一人一人の個性が際だつていて楽しめました。席もよく見えました。

(ハイネ 中川奈津子 60代)

前半は、割とコミカルというか、「こんな感じかあ」と(大変失礼ながら)拍子抜けしたところもあったのですが、後半、イツキに持つていかれるところがすごかったです！(全部つながっちゃった！)役者さんの演技もぐっと熱を帯びて：「こんな感じかあ」と先述しましたが、これもあえての「フリ」だったんですね…。こういう語り口もあるんだなあと感じました。

実は、観る前は「グレイ」という所で色々うやむやになってしまつたらイヤだなあ：と思つていたので、でも、憲法も出てくるし、どんな展開になるか不安半分楽しみ半分でした。その「グレイ」の意味もしっかり表現されていてすばらしかったです。戦後のフクザツさを出しつつ、作品としての芯がガツチリ通つていて、気持ちの良い作品でした。(ラストはハッピーエンドではないですが…) (イヴ 伊丹 濯 30代)

敗戦後の社会の大変化、軍国主義から民主主義へ。天皇制につながった華族の混乱は想像できるが、自分とかけ離れた世界の物語なので、登場人物と共感することはなかった。

しかし、農地解放、財閥解体、新憲法、朝鮮戦争など、時代の背景と人々との関係が描かれていて面白かった。現代につながる深刻な問題も分かる。

ミュージカルのようにもあり、コミカルな動きもあり、楽しい芝居となつている。憲法の話はとても大きなテーマだと思つた。

(ハッピープリンス 春日井治 70代)

今の世相にも通ずる内容で心に沁みました。戦争はやはりいけませんね！

(パンジー 永井 70代 女)

まず懐かしい服装に見惚れてしまいました。そして、話の内容も見ごたえあり、戦争に翻弄される人々：結局は自分達の一人一人が決めて行動しないと、空気が(?)というものに巻き込まれていく。憲法が大事、日本の憲法は世界遺産！とつくづく思う劇でした。ありがとうございます。

(無記名 60代 女)

今回の芝居の「グレイクリスマス」を観て、とても良い話だと思いました。最後の方はとても感動しました。

(ワディ&ホライズン)

向後拓海 高校2年)

太平洋戦争敗戦後、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)の下ですすめられた日本の民主化。女性参政権がはじめて認められ、財閥解体、農地改革、戦争犯罪人の裁判、そして民主憲法の制定などが連合国軍の手によってなされた(※日本国憲法は、一九四六年の第九〇回臨時帝国議会で審議・修正され、同年一月三日に公布、翌一九四七年五月三日に施行された)。「もし日本のピールが暴動を起こし、自分たちの政府をつくれれば、私たちはなにも、しないで済みました。」とのジョージの言葉は、八十年近い時を経て現在でも日本への警告として生きていくのではないか。

一九五〇年、朝鮮戦争勃発。ジョージは、アメリカで日本人が一一万人も強制収容所に入れられたことや「私たち一家は、この日本に棄てられた日本人だから」と話し、志願して前線へと行く。エンディングで、ジョージの戦死の報告を受けた華子は、雪の夜、憲法を語りながら踊る。

華子を演じた中地美佐子さんが語る憲法の条文は、かくも美しい文章だったのかと教えられました。その語りを涙が出るような思いで聴きました。今、歴史の逆行と思われる蛮行が大国によつて行われています。

世界が、日本が平和であるために、まず日本国憲法を語り、守り抜いていかねばとの思いでいます。

(荒馬 草野高德)

演劇を鑑賞するのは数回目だが、今まで一番面白かった。脚本が史実に基づいた第2次世界大戦後の華族の話だったので、自分にとっては新鮮で、既知の事実にもストーリーが乗ったように入つてきやすかった。

題材も魅力的で、全体的に暗い出来事が多かったが、演劇の雰囲気は明るくて、そのちぐはぐさも引き込まれる要因となつたと思う。また、役者さんの演技も素晴らしくて、感情移入して鑑賞出来た。特に華子とジョージの別れには胸を打たれた。

鑑賞後に自分でデモクラシーについて考えるきっかけになつて、良い経験になつた。(花いかだ 吉田葵 高校2年)

戦争後の人々の感情や不幸を、コメディータッチで良く見せていただきました。ありがとうございます。

(YMO 田中弘之 60代)

劇中で暗唱された「この憲法が国民に保障する自由及び権利は国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならぬ。」「不断の努力」という重い言葉を思い出させてくれました。

「憲法を支えていくのはピールなのです。ピールの心が変わった時、憲法は変わるのです！」

憲法改悪が起こりうる今こそ、見るべき「グレイクリスマス」ですね。

(ラ・シーク 近藤 淑子)

① 今回の「グレイクリスマス」は、数年前鑑賞している。(民藝公演)。そして民藝の4月公演で又観ることになります。会場によつて、セットや俳優さんの演技がどう違ってくるか比べて観たい。

② 戦後の数々の出来事を、盛り沢山織り込まれていたが、一つ一つのことか思い出されました。忘却は人間の常、そして歴史は繰り返される。新しい「戦後」にならないように祈りたい。そして演劇は、人が生きるための教材であり糧の一つと思う。生の舞台を鑑賞し続けたい。

③ ベテランと若手そして客演が、スムーズに演じられていて、安心して観られました。(宙 田口誠雄 80代)

家に帰って、すぐ日本国憲法を取り出し、読みました。第14条だけでも感想の代わりに送りたいと思います。

第14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。華族その他の貴族の制度は、これを認めない。荣誉、勲章その他の栄典の授与は、いかなる特権も伴はない。栄典の授与は、現にこれを有し、又は将来これを受ける者の一代に限り、その効力を有する。

(21世紀 無記名 70代 女)

役者の皆さん、よく声を通り、流石民藝と感じ入りました。厳しい稽古の賜物なのか、これだけでも元気がもらえます。・脚本と舞台進行が素晴らしいと感じました。

戦後5年の歩みにGHQとの関係もさることながら、日系二世、朝鮮併合の問題も絡め、重層的に構成されている。そして劇の進行は、セット中央の入口、左の母屋からの入口、右手の階段の昇り降り、飽きさせないひとつのセットでこれだけの効果が生み出せるのです。憲法を読む場面がどこに現れるかと思いきや、最終、華子さんの思い人、ジョージ戦死の場面で朗読される、このフィナーレが圧巻でした。

・交流会にて、役者の皆さん、お気に入りのセリフ、場面紹介も面白く、参考になりました。有り難う存じました。又よろしく願っています。

(富士桜 朝日 崇 70代)

深い内容の考えさせられるお芝居でした。さすが劇団民藝です。また観たいと思います。楽しみにしています。

(無記名 70代 女)

久々に大人の芝居を観れて、とても豊かな気持ちになりました。ありがとうございます。

(子育てネット 下田美恵 60代)

「グレイクリスマス」という作品の魅力と、配役のマツチ具合が伝わってきました。ホワイトクリスマスとグレイクリスマスの違いと、雪で包み込んでしまいたい思いや願いを、まだ少ししか感じられていない…かなと思っています。

前作の「グレイクリスマス」の配役の顔ぶれも知りたいな〜と思いつつ眠りました。

交流会の進め方が、参加者からの質問意見に答えた後、演者18名からの自分のNo.1のセリフや場面を語って、心に何かスーッと入り込みました。ジョージ・イトウの塩田さんが、日系移民の育ちの辛さを話してくれた時に、日系二世のお母さんが一生懸命、祖父母や父母の母国で子育てをしていた私の保育士時代の想い出が甦りました。

(日本で育った他のお母さんたちよりも、心がきめ細かくて優しい方でした。母国を離れて外国で子どもを育てるという事には、母国への思いや我が子への思いがしっかりと伝わっていると、その頃も思いました。)

(ユミ丸 Y・K 70代 女)

今回初めての観劇でした。キャストの皆さんの迫力に引き込まれました。

難しいお話なのかと思っていたら、テンポ良く進んで、笑いもあり、面白かったです。

(ワディ&ホライズン 向後容子)

難しかった。でも迫力すごくて、楽しかったです。

(スマイルハート 千葉千尋 30代)

本当に本当に、今日この演劇を観たことに感動しています。劇の世界ばかりでなく、日本の今の国政に対しての怒りと昔のことが重なって言葉もありません。戦争反対、憲法を守ることを、痛切に感じました。

(あおぞら 桑名 80代)



おめでとうございます！

「グレイクリスマス」サイン色紙当選者

- 1035 パンパスグラス 遠藤 竜子さん
- 1584 おひさま 後藤 悦子さん
- 2332 ジャンプ 藤井 雪枝さん

※当選した方は申し出てください。



アンケート枚数 31枚	(回収率2.5%)
当日会員数 1,467名	
例会参加者 1,233名	(参加率84.1%)